2026 年 11 月 12 日

各　　位

会 社 名　ニ チ バ ン 株 式 会 社
代 表 者 名　代表取締役社長　高津 敏明
（コード番号 4218 東証プライム）
問 合 せ 先　執行役員コーポレートコミュニケーション部長
小林　祐子
（TEL. 03-6386-7190）

2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同日に公表いたしました通期連結業績予想も修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026 年４月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 25,500	百万円 1,200	百万円 1,270	百万円 500	円 銭 24.58
実績（B）	25,183	1,722	1,753	1,034	51.28
増減額（B－A）	△316	522	483	534	―
増 減 率 （ % ）	△1.2	43.5	38.1	107.0	―
（ご参考） 前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	24,150	1,025	1,051	656	32.23

２．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 52,000	百万円 3,600	百万円 3,700	百万円 2,300	円 銭 113.06
今回修正予想（B）	53,000	3,600	3,700	2,300	113.06
増減額（B－A）	1,000	0	0	0	―
増 減 率 （ % ）	1.9	0.0	0.0	0.0	―
（ご参考）前期実績 （2026年３月期）	50,470	2,270	2,442	1,652	81.22

３．差異及び業績予想修正の理由

（１）第２四半期（中間期）連結累計期間の業績予想と実績値との差異

売上高は概ね当初の予想通りの進捗となったものの、販売価格の改定効果や、中東情勢の影響による受注停止等に伴い予定していた一部の販促活動に係る費用の計上が第３四半期連結会計期間以降となったことから、営業利益及び経常利益はともに当初予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、上記の要因に加え、生産設備撤去工事関連費用として中間期に見込んでいた特別損失の計上が第３四半期連結会計期間以降にずれ込んだことから、当初予想を上回りました。

（２）通期の業績予想

通期の連結業績予想につきましては、販売価格の改定効果により売上高の予想を上方修正いたします。一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当初予想を据え置くことといたします。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想を据え置いた主な理由は、以下の通りであります。

第２四半期（中間期）連結累計期間までは価格改定効果が先行して利益を押し上げましたが、第３四半期連結会計期間以降は原材料及び商品等の調達コスト上昇の影響が本格化し、売上原価が増加する見込みです。

また、第２四半期（中間期）連結累計期間において受注停止の影響等により実施を見送っていた販促活動等についても、事業環境の正常化に伴い、第３四半期連結会計期間以降に積極的な展開を予定しております。

生産設備撤去工事関連費用についても、一部費用の計上時期が第３四半期連結会計期間以降となったものであり、通期の特別損失の計上見込額に変更はありません。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上